

SDGs への取り組み

OUR PRACTICES TO ACHIEVE THE SDGs



2021年度 年間活動報告について

【はじめに】

当社は、2020年3月に「国連グローバル・コンパクト」の理念に賛同し、参加を表明しました。そして、その活動における理念の遵守・実践に向けて、「持続可能な開発目標（SDGs）」を指標とした社内活動を開始しました。2020年度から始めた取り組みは3年目となり、各本部における活動により課題達成への深度を深めています。

本報告書は、2021年度各本部の年間活動報告に基づき作成しました。それぞれの達成状況については、数字による達成度を記載しており、2022年度に向けてさらなる活動の活性化に繋げていきます。昨年から引き続き、新型コロナウイルスの感染予防対策を行いつつ企業活動を継続し、医薬品の安定生産を継続しています。今後も感染予防対策の充実化を進めていくとともに、SDGsの理念に対して、従業員全員が一丸となって自分事として取り組み、我々一人ひとりにとってこの取り組みが「当たり前」となり、より良い職場環境の形成と安定的な企業活動の実施を目指しています。

藤本化学製品株式会社
ESG推進室
2022/4/31

2021年度 SDGs 活動目標

目標設定：2021/5/10

ESG推進室

目標3：すべての人に健康と福祉を

事業目標：本業を通じた社会貢献の実施

- ・医薬品原薬の受託製造を通じて、GMP管理のもと、高品質な医薬品を製造し、安定的な供給を通じて、世界に人々の健康に貢献します。

【部門別目標】

技術本部	生産計画・納期の全うと、品質保証体制の維持管理
研究開発本部	医薬品開発を通じた社会貢献の実践
管理本部	法令遵守の徹底、社内活性化
営業本部	顧客満足度の向上



目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

事業目標：省エネルギー化の推進

- ・エネルギー原単位に基づく、エネルギー消費量の削減を実施します。
- ・温室効果ガスの削減に貢献する設備、機器の導入を推進します。

【部門別目標】

技術本部	ISO14001、省エネ活動を通じた環境対策実践
研究開発本部	環境負荷を低減した医薬品製造への貢献
管理本部	ニューノーマルなデジタル経営へ移行
営業本部	営業活動の効率化



目標8：働きがいも経済成長も

事業目標：事業活動を通じた人権尊重，法令の遵守

- ・働き方改革の推進による社内活性化を実現します。
- ・社内人材の活用、将来を見据えた計画的な人材採用を行います。
- ・サプライチェーン全体でのCSR調達を強化します。

【部門別目標】

技術本部	時間外労働の削減と作業負荷の軽減
研究開発本部	継続的な研修システムの遂行と学会・講習会への参加
管理本部	会社戦略に沿った人材採用
営業本部	コミュニケーション力の強化

8 働きがいも
経済成長も



目標9：産業と技術革新の基盤を作ろう

事業目標：核酸医療ビジネスの収益

・希少疾患への適用が期待される核酸医薬品の製造方法の研究開発において、一般的に使われる固相合成法が確立していますが、藤本化学製品が新たに開発した液相合成用の担体(Fujimat®)を用いることにより、安価で大量生産が可能な液相合成による新規核酸医薬品の開発スピードアップが期待できます。また、上市後には、当社のGMP管理のもと、世界中へ医薬品の供給体制を一貫して構築することを期待できます。

【部門別目標】

技術本部	—
研究開発本部	新規技術開発による医薬品製造への貢献
管理本部	—
営業本部	当社技術の情報発信

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



目標12：作る責任使う責任

事業目標：リスクマネジメント，危機管理の推進，原材料の使用量削減，
リサイクルの強化，環境にやさしい製造方法の開発。

- ・原材料の安定的な調達を推進し、計画的な製造を行うことにより、エネルギー消費量を削減します。
- ・有害物質の使用量削減や、製品中の有害物質の管理強化をします。
- ・有機溶剤等のリサイクルを推進します。
- ・製造法の改良による、工程や原材料の削減を推進します。

【部門別目標】

技術本部	化学物質関連の法規制対応と廃棄物削減、リサイクル推進
研究開発本部	製造プロセスの最適化検討を通じた取り組みの推進
管理本部	CSR、リスクマネジメントの推進
営業本部	重要原料の複数ソース化と新技術確立



目標14：海の豊かさを守ろう

事業目標：工業廃水の管理

- ・活性汚泥処理設備の管理徹底と、大阪湾への処理水の規制値を達成します。
- ・下水道処理への排水管理を徹底します。
- ・高薬理活性施設で使用した、産業廃棄物の処理方法の管理を徹底します。

【部門別目標】

技術本部	KYK使用済み風袋、工業排水管理
研究開発本部	工業排水管理、水質管理の知識修得
管理本部	—
営業本部	産業廃棄物の有効活用



技術本部 実践目標/進捗

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	年間の進捗	進捗度
泉北工場	新製法G2の導入	PV完遂	目標3	PV完遂、全量出荷済み	100%
	新製品Fの導入	PV完遂	目標3	PV完遂、全量出荷済み	100%
	OH体の導入	製造完遂	目標3	2ロット製造完遂	100%
	クレーム"0"の達成	0件	目標3	3件発生	0%
	環境に配慮した設備の導入	1件以上	目標7	4件導入	100%
	電気使用量の削減	0.1%削減	目標7	0%	60%
	適切な要員計画の立案、採用活動により作業負荷の軽減	稼働率75%以下	目標8	72.5%	100%
	無事故無災害の達成	0件	目標12	1件発生	0%
	溶剤リサイクル化等による省資源・省エネルギーの達成	1件以上	目標12	1件実施	100%
	高薬理活性設備の使用済み風袋管理の徹底	暴露0件	目標14	0件	100%
	活性汚泥処理日常のトレンド分析による傾向解析と対策の徹底	規制値順守	目標14	規制値順守	100%
金楽工場	P製品の生産継続 調達困難原料の原料メーカー変更検討	各品目の変更検討実施	目標3	・原料A：製品減産により一旦延期 ・原料B：ユーステスト終了し、品質問題なく変更管理実施中 ・原料C：中国品は品質悪く改善改良要望中、国内検討品は品質良好で生産体制について確認中 ・原料D：サンプル手配中	50%
	モノマー増産体制の構築	OH体技術移転実施	目標3	計画通り進捗中	83%
	クレーム"0"の達成	0件	目標3	クレームなし	100%
	環境に配慮した設備導入	1件以上	目標7	3件	100%
	電気使用量削減	0.2%削減	目標7	0.55%削減	100%
	労働生産性向上の徹底追求	物量向上1%, 能率向上0.5%	目標8	両項目未達成	0%
	無事故無災害の達成	0件	目標12	1件(やけど)発生	0%
	廃棄物のリサイクル	1件以上	目標12	0件	0%
	日常監視及び週1回の水質試験実施	規制値順守	目標14	規制値順守	100%
CMC企画部	新製法G2の導入	PV完遂	目標3	完了	100%
	新製品Fの導入	PV完遂	目標3	完了	100%
	モノマー生産性向上によるコスト低減	提案1件	目標8,9	薄膜濃縮装置についてシステム検討した。具体化は生産物量を踏まえ停滞	50%
	アセチル化ヒアルロン酸Na生産性向上	提案1件	目標8	物量を踏まえ、実施見送り	0%
	工場生産力アップのための設備投資計画の確実な実行 (乾燥棟、新管理棟PJの進行)	計画達成(進捗)	目標3,7	乾燥棟、新管理棟建設は計画通り進行中 現時点計画遅れはなし	100%
	ISO14001,省エネ活動を通じた環境対策実施 ・ISO14001活動の推進	JQA審査における指摘0	目標7	審査終了	100%
	・省エネ活動の推進	エネルギー原単位1%減達成	目標7	2020年度原単位は前年度比96.8%	100%
	EHS活動の推進	労災0達成(両工場)	目標3,8,12	2件発生(両工場)	0%
品質保証部	供給者監査の計画的な実施	環境事故0(両工場)	目標14	なし	100%
		計画24件	目標3	実績40件	100%

研究開発本部 実践目標/進捗

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考	年間の進捗	進捗度
研究開発本部					2030年度の目標に対して	
	・開発品受託生産	2030年：90品目	目標 3		6品目	7%
	・スケールアップ検討	2030年：90件	目標 7		7件	8%
	・全員ノー残業の実施	2030年：120回	目標 7		12回	10%
	・学会・講習会への参加	2030年：150件	目標 8		42件	28%
	・新技術開発の検討	2030年：30件	目標 9		5件	17%
	・製法改良検討	2030年：30件	目標 1 2		7件	20%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2030年：100%	目標 1 4		異常なし	10%
・水質に関する勉強会の実施	2030年：10件	目標 1 4		1件	10%	
プロセス開発研究所					2021年度の目標に対して	
	・開発品受託生産	2021年：9品目	目標 3		6品目	67%
	・スケールアップ検討	2021年：9件	目標 7		7件	78%
	・全員ノー残業の実施	2021年：12回	目標 7	合同で実施	12回	100%
	・学会・講習会への参加	2021年：8件	目標 8		25件	100%
	・製法改良検討	2021年：3件	目標 1 2		7件	100%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2021年：100%	目標 1 4	合同で実施	異常なし	100%
・水質に関する勉強会	2021年：1件	目標 1 4	合同で実施	1件	100%	
基盤技術研究所	・全員ノー残業の実施	2021年：12回	目標 7	合同で実施	12回	100%
	・学会・講習会への参加	2021年：7件	目標 8		24件	100%
	・新技術開発の検討	2021年：3件	目標 9		5件	100%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2021年：100%	目標 1 4	合同で実施	異常なし	100%
	・水質に関する勉強会	2021年：1件	目標 1 4	合同で実施	1件	100%

管理本部 実践目標/進捗

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考	年間の進捗	進捗度
管理本部	ニューノーマルな デジタル経営へ移行	管理本部所管電子化 100%	目標 7	XPOINT、 EVALUE	電子帳簿保存対応により 1月頃から電子化促進予定（積立有休のみ）	50%
	人材採用	新卒・中途 合計19名 （製造11人、品管5人、 研究3人）	目標 8		新卒採用人数合計21名 （製造10、品管 8、研究 3）	100%
	BCP見直し	全社的なBCP訓練実施	目標 12		未実施	0%
		BCP記載内容更新			BCP記載内容更新終了	100%
	法令遵守の徹底	法に定められた有休 休暇の取得	目標 3		8月迄の集計で平均日数7.8日 対象従業員の有給休暇取得5日以上達成	100%
		時間外管理 (36協定の厳守)	目標 3		毎月、全従業員の時間外を集計し各事業所へ連絡 年間通じて協定違反なし	100%
	社内活性	くるみんマーク取得	目標 3		有給休暇の取得状況の公表、改正育児介護休業法の対応 実施、1年前倒しで目標達成	100%
		健康経営優良法人認定	目標 3		健康経営優良法人認定取得	100%
ニューノーマルな デジタル経営へ移行	社内会議80%をWeb 会議実施	目標 7	TEAMS	TEAMS上で会議チャンネルを作成し、 WEB会議推進させる環境づくり実施	100%	

営業本部 実践目標/進捗

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	年間の進捗	進捗度
営業本部	アンケート実施	2件	目標3	1件（核酸アンケート）	50%
	WEB会議の積極活用		目標7	Teams、Zoom活用、販売管理システムのクラウド化（スマイルV導入）	100%
	面談メモ（日報）導入	情報共有化	目標7	日報導入し情報共有化	100%
	プレゼンテーション力の向上	1回/月×12ヶ月 教育訓練	目標8	全部員へ毎月テーマを打診し、プレゼン資料の作成と発表	100%
	核酸技術に 認知度アップと実績	クォーター毎の 顧客へのプレゼン	目標9	・オリゴ合成受託に向けた協業候補先の探索実施。ビジネスアライアンス提案を受け検討継続中 ・ Fujimat®のアプリケーション（アミダイトブロック）の展開に向けてデータ取得し、プレゼン資料を完成（アップデート）し、HPならびに顧客プレゼン実施	100%
		Fujimat®試薬販売 （代理店契約に向けて）		富士フィルム和光純薬との試薬販売協業締結	100%
		核酸医薬品の 新規テーマ参画（2件）		2件 (核酸受託。Fujimat®提供、アミダイトブロック検討に向けた協議)	100%
	高薬理設備の再プレゼン	新規受託1件	目標9	1件	100%
	原料ネットワーク構築	4件	目標12	・原料アルデヒドメーカー追加検討 ・新規メーカー品の導入(溶剤、試薬の導入検討。主原料メーカー調査、製造メーカーとの情報交換) ・中間体外部委託製造立ち上げ検討。副原料のリスト化とメーカー調査 ・外部製造移転に対するセカンドメーカー立ち上げ検討	50%
				フロー合成基盤構築	JV参画、周辺情報収集
新素材、新商品開発	7件		6件(アスファルト素材、光ファーマー用接着剤、電子材料新素材、AcHAの用途開発)	85%	
廃液有効活用	1件	目標14	2件（THF廃液の検討、OH体の塩化メチレン廃液評価と有償化）	100%	